



自然素材を活用したロハス&エコな住環境 エコバウリフォーム・ニュース

8月号

環境問題・共生住宅特集

千葉大学【ケミレスタウン】実験棟が完成

柏市の千葉大学新キャンパス内に化学物質を極減した住宅実験棟



「ケミレスタウン」が建設されました。千葉大学診療所「環境医学診療科」では化学物質化敏症とシックハウス症候群を学術的に解明し、環境予防医学の確立を目指します。そのため患者家族が一定期間滞在し、血中の化学物質や様々なデータ解析が行われます。将来自治体と連携し、街全体の化学物質

の低減を図り、アレルギーに悩む家族のみならず「環境ユニバーサルデザイン」の街づくりを目指します。

千葉大学ケミレスタウン構想 <http://chemiless.hp.infoseek.co.jp/>



NO4住宅; 石油系住宅メーカーのモデルハウスと一線を画す仕様

日本のバウビオロギー住宅がいよいよ誕生



トイレの洗浄に雨水を利用。散水や外壁の断熱にも活用する

実験棟を見学し、感じたのは「こだわり」と称した独特の表現や「独自の技術」という偽りのPRは一切ないのは当然ですが、製造～廃棄まで膨大な環境負荷、リサイクル性が悪いオール電化など大規模な装置は無く、シンプルな雨水利用など自然共生循環型が特徴です。建物は木・石・土など自然素材を多様し、あくまでも「標準」という点が、住宅先進国ドイツの「ハウエコロジー」や「ハウビオロギー」〔建築生態学〕の考え方に近いものです。今後とも目が離せないプロジェクトです。シックハウス診断士(一級)アップル 大竹

一緒に、植林や葦刈り&茅葺のボランティアなどに参加してみませんか?
アップルでは日本の原風景を保存するさまざまな市民活動に積極的に参加中です!

「エコの先端をいく文化を取り戻す」ビンテージリフォーム
江戸時代木材を再利用するのは当り前の時代。それがいつしか捨てる文化に変わってしまった。究極のエコはそのままの形で出来るだけ長く使う
ビンテージリフォーム。そんな私達の考えが詰まったコンセプト・リフォームを推進中!



とてもロハス&エコな市民グループをご紹介します!

環境問題を考える会/下野市



4月豆蒔が行われました。

■ 住民努力で産廃施設建設を阻止

「環境問題を考える会」は、旧南河内、国分寺町民を中心として結成された住民団体です。1998年、民間業者の産業廃棄物焼却施設の建設反対の声が高まる中、この会は誕生しました。単なる住民エゴを超え、住民自らのゴミ減少努力と厳しい分別の徹底と引換えに、建設阻止を実現に導いた経緯があります。この会の目的は単に産廃施設に反対することに止まりません。

「環境問題を考える会」は現在も地域の環境を守るべく発言を続けています。特に、大量生産・消費・廃棄という環境への負荷を増大させる社会から脱するため、廃棄物を発生源で抑制し、持続可能で資源循環型社会に向かうべく情報発信を続けてます。

■ 枝豆トラストとは?

消費者は自らの「食」とそれを支える「農」を考え直し生産者も「生産」とそれを支える「消費者」との関係を考え直すという相互の信頼関係の中で、消費者は生産緑地と農村を守り、生産者も安全な食べ物を作り、食の安全と健康な暮らしを守る運動の一つが枝豆トラストです。具体的には保証金を出資し会員になります。安心な枝豆を生産するためには、化学薬品(農薬)を使わない半面、病虫害の減収リスクが伴います。生産者に安心な枝豆を生産して貰い、消費者もリスクを負うというものです。



7月の収穫の様子。

環境問題を考える会(下野市) <http://www005.upp.so-net.ne.jp/kankyomk/>

下野市・エコライフ祭りで子供木工・造形左官教室を開催!



7月21日(土)

地元の子供たち36名が元気に参加!
食品の廃油からつくる、やよい会の手づくり「リサイクル石鹸」も販売しました。



やよい会連絡先 : 代表 森田 0285-40-7726 副代表 湯澤 0285-44-2918

ロハス・デザイン&エコロジー・リフォーム リフォームアップル自治医大店
ECOBAU REFORM
 リフォームアップル自治医大店
 URL <http://www.reform-apple.com>
 ☎0120-393-897
 栃木県下野市祇園1-20-1 〒329-0434
 (自治医大駅東口・足銀すぐそば)
 ☎0285-44-8208 (fax共通)
 ホームページで実例を多数ご紹介中。